

戦略的デザインで目的達成！成功事例で見るデザインのポイント

経営者のためのデザイン塾 5

e-とぴあ・かがわ (かがわ県民情報サービス株式会社) 様

(社)日本グラフィックデザイナー協会
香川県デザイン協会理事
猪子デザイン研究室 主宰
INOKE SUSUMU

猪子進

親近感を創出するのもデザインの役割

県民のITへの親しみと浸透を目的に開館

e-とぴあ・かがわは、子どもから大人まで自由に活用できる参加体験型施設。情報通信技術(IT)に慣れ親しんでもらうための展示やITの基礎知識から専門性の高い技術の習得まで数多くの講座やプログラムが用意されている。オープンして早や2年経過したが、利用者数は約26万人を超える人気となっている。またe-

とぴあ・かがわをベースに、自主運営する個性豊かなクラブも30と増え活発な活動が展開されている。このように施設に慣れ親しんでしまえば何の事はないが、ITと言えば年配の方には敬遠されがち。そんな方達にも親しみやすいイメージをつくるのも

デザインの役割。

パソコンの「P」を進化させたキャラクター「ピーちゃん」

美しい形を創るだけがデザインではない。目的を達成するための手段



e-とぴあ・かがわで開催される講座内容と開講スケジュールを掲載した講座案内vol.1。



としてグラフィックデザインはある。今回のe-とぴあ・かがわでは先述したように、出来るだけでなくの方に親しんでもらわなくてはいけない、そしてパソコン等に触れてもらって皆さんのITのスキルアップを図るのが目的。いかにもIT

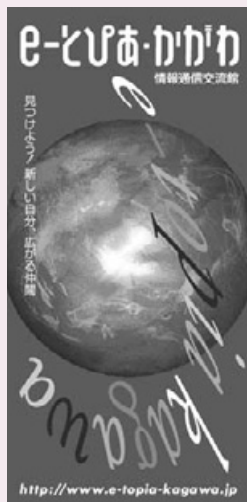


e-とぴあNewsは約4ヶ月周期で制作されている

っぽいメカニク的なものでは余計敬遠されてしまう。温かみのある解りやすいデザインが適している。それに子ども対象の講座も多く開かれていることから、ピーマークを進化させたキャラクターを開発し誌面のとどころに登場させ親しみ感を演出。可愛らしさも手伝つて概ね好評なようだ。

統一感のあるデザインは利用者に安心感を与える

ポスター、パンフレット、チラシ、新聞、広告等、統一されたイメージのデザインは当施設のイメージと同化し、ある一定の感覚で利用者認識されている。それは統一的なりズムとなり極く自然に受け入れられやすい。それとは逆にバラバラのデザインは煩雑で受け入れにくい。発信者側が考えなければならぬ事は、常に利用者のこと。



案内リーフレット

猪子デザイン研究室
高松市宮脇町二丁目七三
〇八七七八六一四五三九